

石川県の事業概要

～金沢大学附属病院・医王病院・県立こころの病院・県こころの健康センター～

～子どもの心のケアネットワークの推進～



石川県観光PRマスコットキャラクター「ひやくまんさん」

【1】地域概要

- ・自治体担当管轄課 : 石川県健康福祉部少子化対策監室子育て支援課
- ・児童数(0歳～18歳未満) : 176,736人(令和3年10月1日現在)
- ・児童精神科系 医師数 : 日本児童青年精神医学会認定医 2人

【2】拠点病院・機関概要

- ・拠点病院名 : 金沢大学附属病院(病床数830床)子どものこころの診療科にて実施
独立行政法人国立病院機構 医王病院(病床数310床)小児科にて実施
県立こころの病院(病床数400床)
- ・事業開始年 : 平成20年
- ・事業協力施設: 県では「子どもの心の診療・相談機関情報ガイド」を作成し、関係機関に配布。
当ガイドには、小児科35医療機関、精神科35医療機関、行政機関等を掲載

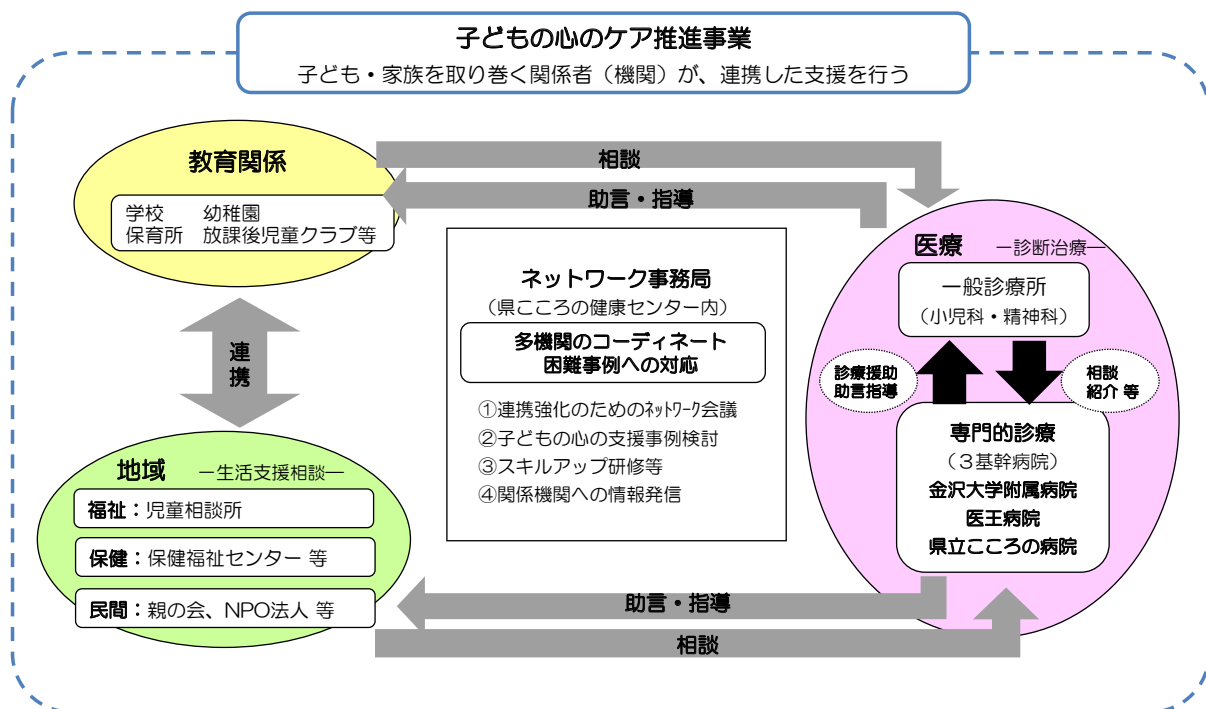


【3】事業実施への経緯

ひきこもりや小児うつ、摂食障害、発達障害など様々な子どもの心の問題について、多くの家族や保育所、学校等が対応に苦慮しているが、子どもの心の診療を行う医師が少なかったことから、平成20年10月より「いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業(平成24年度からは、子どもの心のケア推進事業)」を開始し、子どもの心の問題に関しての病診連携及び人材育成を促進し、医療・教育・保育・保健等の関係者が連携し、包括的支援を推進することとした。

石川県の事業概要

【4】事業図～石川県における子どもの心のケア推進事業体系図～



【5】実施事業の概要

年度	1 子どもの心の診療支援		2 子どもの心の研修・育成		3 情報発信	4 困難事例への相談対応
	①ネットワーク会議 (体制整備検討会)	②支援事例検討会 (多職種及び医師間連携の 合同事例検討会)	①子どもの心の問 題に携わる関係 者育成セミナー	②発達障害早期 発見・早期支援関 係者セミナー		
1	ケアネットワーク 事業検討会 1回	6回	5回	2回	—	医師・心理士 等による 相談
2	ケアネットワーク 事業検討会 1回	—	2回	—	—	医師・心理士 等による 相談
3	ケアネットワーク 事業検討会 1回	—	3回	1回	「子どもの心の 診療・相談機 関情報ガイド」 改訂・配布	医師・心理士 等による 相談

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度・令和3年度は一部の事業が実施できなかった。

【6】特徴や特に力を入れている事業内容

- 研修会や支援事例検討会を開催し、福祉・教育・医療の連携とネットワークの強化、関係者の人材育成を実施
- 相談機関の情報共有のための媒体を作成し、福祉・教育から医療へ相談しやすい関係づくりを図った
- 発達障害児の早期発見・支援につなげるため、保育所健診医向けの研修会や保育士向け研修会を実施
- 発達障害児の支援を強化するため「つながりつながり手帳 ライフブック」を作成し、関係機関との情報共有を図った

【7】地域や関係機関との連携の状況

事業名	連携機関	対応した職種	回数
いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業 検討会	医療：基幹病院、精神科病院、小児科診療所 保健：保健福祉センター 教育：県教育委員会、県教員総合研修センター、 小・中学校、高等学校、特別支援学校 福祉：保育所、児童相談所	医師、教員、行政	年1回
子どものこころの問題に携わる関係者育成 セミナー	医療：精神科・小児科医療機関 保健：保健福祉センター、保健センター 教育：県・市町教育委員会、県教員総合研修セン ター、小・中学校、高等学校、特別支援学校 福祉：保育所、児童相談所	医師、看護師、心理 職、精神保健福祉士、 教員、保健師、保育 士等	年2～5回
子どものこころの支援事例検討会	医療：精神科・小児科医療機関 保健：保健福祉センター、保健センター 教育：県・市町教育委員会、県教員総合研修セン ター、小・中学校、高等学校、特別支援学校 福祉：保育所、児童相談所	医師、看護師、心理 職、精神保健福祉士、 教員、保健師、保育 士等	年2～5回
発達障害早期発見・早期支援セミナー	医療：精神科・小児科医療機関 保健：保健福祉センター、保健センター 教育：県・市町教育委員会、県教員総合研修セン ター、小・中学校、高等学校、特別支援学校 福祉：保育所、児童相談所	医師、看護師、心理 職、精神保健福祉士、 教員、保健師、保育 士等	年1～2回

※【5】実施事業の概要の詳細を記載

【8】事業による効果と思われるもの(H28-30年度からの改善点など)

- 医療・教育関係機関から困難事例への対応依頼を受けている

＜困難事例の来所相談対応件数及び紹介機関割合＞

年度	延件数	実件数 a	紹介機関			
			医療機関 B	割合 b/a	教育機関 c	割合 c/a
R1	133	39	4	10.3%	10	25.6%
R2	93	27	0	0%	9	33.3%
R3	303	35	1	2.9%	5	14.3%

- 医療と教育の連携強化
ネットワークの構築により、教育機関や医療機関とのネットワークが強化された
- 社会資源が不足している地域の支援体制の強化
以下の取り組みにより地域の支援体制が強化された
・専門医療機関、かかりつけ医、地域の支援者の連携強化のため、発達障害児のための地域連携バス(「つながつながら手帳 ライフブック」)を作成・運用
・各医療圏で、支援関係者が参集し、発達障害の療育体制の検討や情報共有を実施するための検討会の実施

【9】目指す方向性について (今後の予定事業や展望、目標など)

- 教育・医療・保健・福祉のチームによる支援にむけて関係機関の更なる連携強化
- 社会資源が不足している地域への支援強化